

令和7年度 熊谷市立富士見中学校 学校経営方針

令和7年4月1日

1 学校教育目標

「知・徳・体」のバランスのとれた日本一の富士見中生

※ 昭和22年開校以来の富士見中の精神

- 文武両道 (特に生徒が受け継いできた精神)
- 師弟同行 (特に教師が受け継いできた精神)

2 目指す生徒像

- 自ら学ぶ生徒 (我らは学ぶ) 【知】
- 心豊かな生徒 (我らは進む) 【徳】
- 健康な生徒 (我らは励む) 【体】

文武両道

3 目指す学校像

- 力を合わせて学ぶ喜びを味わう学校
- 将来の夢をはぐくむ学校
- わかる、できるようになる授業を行い、生徒一人一人を伸ばす学校
- 「ありがとう」が溢れ、潤いと勢いのある学校
- 環境が整い、秩序ある学校
- 家庭・地域社会との連携を深める学校

4 目指す教職員像

- 生徒とともに、学び続ける教職員 (指導者であり伴走者である教職員)
- 情報を共有し、組織として課題を解決できる教職員
- 生徒の手本 (モデル) となる教職員
- 高い授業力、高い生徒指導力をもった教職員
- 「ありがとう」の溢れる教職員
- 健康で明るく、不祥事を起こさない教職員

師弟同行

5 経営方針

生徒一人一人の能力や個性を伸ばす教育の推進

- 生徒を学校を中心に据え、誰一人取りのこすことのない教育を推進し、生徒一人一人の能力や個性を伸ばします。
- 「新熊谷プロジェクト」※1で、学力日本一を目指します。
- 道徳を核として、豊かな心を育て、共に助け合い、支え合う学級・学年・学校をつくります。
- 特別活動（学級活動）を核として、生徒の主体的な活動を活発にします。
- 健康な心と体を育み、気力・体力の充実したバランス感覚の優れた生徒を育成します。
- ノーマライゼーションの理念にたち、生徒一人一人を大切にした教育を行います。
- 基本的生活習慣の確立（「4つの実践」と「3減運動」等※2）を学校・家庭・地域が一体となって進めます。
- 教職員事故の絶無を期し、信頼される学校をつくります。
- 時間外勤務の短縮に努め、教職員がゆとりをもって勤務できるようにします。

※1 「新熊谷プロジェクト」の取組 ―教科横断的でオーセンティックな授業を―

関連する教科や複数の単元にまたがる学習内容を精選、統合するなど、「総合的な学習の時間」を中核としたカリキュラム改善により、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」、いわゆる汎用的能力を育成します。

※オーセンティックな授業・・・現実社会に存在する、本物の実践に可能な限り近づけた学び

※2 「4つの実践」と「3減運動」等

- ・「熊谷の子どもたちは、これができます！『4つの実践』と『3減運動』」
- ・「スマホ使い方宣言」
- ・「タブレット端末の約束5か条」